

2022 年 11 月 18 日

## SUBARU 新型「インプレッサ」を世界初公開

～クラスを超えた高い安全性能と動的質感を兼ね備えたモデルとしてさらに進化～

SUBARU は、米国ロサンゼルスにて開催中の 2022 年ロサンゼルスオートショーにおいて、現地時間 2022 年 11 月 17 日に新型「インプレッサ」(米国仕様車)を、世界初公開しました。



新型インプレッサ Sport(米国仕様車)



新型インプレッサ RS(米国仕様車)

「インプレッサ」は、クラスを超えた高い安全性能と動的質感を兼ね備えた SUBARU ラインナップのスタンダードモデルです。

本日公開した第 6 世代となる新型「インプレッサ」は、愉しくなる優れた運動性能、安心できる先進安全装備、とことん使えるユーティリティなど、その機能や実用性をさらに高め、乗る人すべてをアクティブな行動へと後押しします。

フルインナーフレーム構造の採用による高いボディ剛性や、2 ピニオン電動パワーステアリングの採用により動的質感や性能を向上。また、新世代アイサイトを標準装備し、安全性能も高めました。さらに、一部グレードでは 11.6 インチマルチインフォメーションディスプレイも搭載しました。

新型「インプレッサ」は、米国市場への導入(2023 年春以降を予定)を皮切りに、世界各国市場に順次導入予定です。

### 【新型「インプレッサ」(米国仕様車)の主な仕様】

#### <デザイン>

- ・行動的なライフスタイルを後押しする、躍動的でスポーティなエクステリアとし、インプレッサの個性をより高めました。引き締まったスピード感ある鋭いシェイプと、大地を駆けだす力強さを感じさせる張り出したフェンダーが、よりスポーティに感じさせ、クルマを操る愉しさを際立たせています。
- ・ドライビングとアクティビティの時間を自然体で過ごせる使い勝手の良いカジュアルなインテリアにしました。さまざまな機能を集約した大型のセンターインフォメーションディスプレイをインテリアの中央に配置した、最新の SUBARU 共通のインターフェイスを採用し、実用性と利便性を高めています。

#### <動的性能・質感>

- ・アクティブトルクスプリット AWD の制御を刷新し、応答性、ハンドリング、コーナリング性能を向上。日常使いのさまざまな走行シチュエーションで、意のままに操れる快適な走りを実現しました。
- ・パワーユニットは、2.0L 水平対向 4 気筒エンジンの振動・騒音を低減することで動的質感を高めるとともに、新規グレードには、182 hp/178 lb-ft の 2.5L 水平対向 4 気筒エンジンを搭載しました。
- ・2 ピニオン電動パワーステアリングを採用。なめらかでリニアなトルク伝達を可能とし、ダイレクトで自然な操舵感

を実現するとともに、応答遅れのないスポーティなステアリングフィールを実現しました。

・スバルグローバルプラットフォームをさらに進化させ、フルインナーフレーム構造の採用や、構造用接着剤の適用拡大、サスペンション取り付け部の剛性を向上。従来型よりさらに高いレベルの動的質感を実現しました。

・骨盤を支えるシート構造を採用。仙骨を押さえることで、車体の揺れが頭部へ伝わることを防ぎます。これにより、ステアリング操作に伴うロールや、路面のうねりで身体が大きく揺さぶられたときでも、快適な乗り心地を実現しています。

#### <安全性能>

・新世代アイサイトを全車に標準装備。視野角を従来型の約 2 倍に拡大。画像認識ソフトや制御ソフトを改良し、より広く遠い範囲まで認識できるようにしました。

・電動ブレーキブースターを採用し、プリクラッシュブレーキで、自転車の急な飛び出しなどへの応答性が向上しました。また、全車速追従機能付クルーズコントロール使用時の、急な先行車の割り込みなどに対する素早い減速も実現しています。

・後席シートベルトリマインダーを全車に標準装備。車両を出る前に、後席確認の案内をすることで、後席のお子様やペットの置き去りを防止します。

#### <ユーティリティ>

・エアコンは、ドライバーシートのみ、フロントシートのみ、全席と各席でのコントロールが可能な集中送風モードを新たに設定し、快適性と燃費向上に貢献しています。

・一部グレードでは、STARLINK 対応の 11.6 インチマルチインフォメーションディスプレイを装備しており、Apple CarPlay<sup>®\*1</sup> および Android Auto<sup>™\*2</sup> のワイヤレス接続に対応。また、STARLINK の追加サービスとして、スマートフォンアプリでのリモートロック/アンロック機能、リモートクラクション・ライト機能、リモート車両位置確認機能が利用できます。

### ■ 新グレード「RS」

1998 年に発売し、米国市場における WRX の先駆車となった「2.5 RS」を想起させるグレードを設定。

・高出力の 2.5L 水平対向エンジンを搭載し、8 段階マニュアルモードとパドルシフトを装備。

・「RS」オーナメントをフロントドアやバックドアにあしらひ、18 インチアルミホイール、ブラック塗装のフロントグリル・サイドスポイラー・ドアミラーなどを採用した専用エクステリア。

・カーボン調インナートリムやレッドカラーのシートバック、高質感な革を使用したステアリングホイールとシフトノブをあしらった専用インテリア。

・メーカーオプションには、Harman/Kardon<sup>®\*3</sup> オーディオシステム(10 スピーカー)、電動サンルーフ、ランバーサポート付き 10 ウェイパワーシート(運転席)も設定。

\*1: Apple CarPlay は、Apple Inc.の登録商標です。

\*2: Android Auto は、Google LLC.の商標です。

\*3: Harman/Kardon は、Harman International Industries Inc.の登録商標です。

#### 【新型「インプレッサ」(米国仕様車)の主な諸元(開発目標値)】

グレード	Base	Sport	RS
全長/全幅/全高(インチ)		176.2/70.1/58.3	
ホイールベース(インチ)		105.1	
エンジン	種類	2.0L 水平対向4気筒エンジン	2.5L 水平対向4気筒エンジン
	最大出力[ネット] [hp]	152	182
	最大トルク[ネット] [lb-ft]	145	178
トランスミッション		リニアトロニック	
駆動方式		シンメトリカルAWD	
サスペンション形式 [前/後]		ストラット式独立懸架/ダブルウィッシュボーン式独立懸架	
ホイール	16インチ		18インチ